



彩湖自然学習センター
Vol.10 2008.10

彩湖

だより

S A I K O

10歳に
なりました!

彩湖自然学習センターが開館して10年経ち、11年目を迎えています。彩湖周辺には、豊かな自然が広がり、鳥、昆虫、魚、野草など様々な生きものを見ることができます。また、当学習センターでは、彩湖・「ミニ彩湖」という小さな池周辺の自然環境について学んだり、情報を得ることができる展示コーナーを設け、皆様のご利用をお待ちしています。ぜひ、ご家族でおでかけください。



ヒメシシバ



トゲスゲ



タコノアシ



アオサギ



ホオジロ



ハンゲシロウ



シヤコウアゲハ オス



マガモ



コクワガタ



チョウトンボ



クサキリ



ススキ

ミニ彩湖・四角池周辺の動・植物

センター西側の土手下には、ミニ彩湖と四角池という小さな池があります。池の周囲はくると木道が敷かれ、水辺の生物などを観察できるようになっています。ここでは、池の周辺で見られる動・植物についてご紹介します。

*野草



サクラソウ



ハンゲショウ

ミニ彩湖の木道沿いには、彩湖周辺の希少な植物を植栽しています。春にはサクラソウの可憐な花が水辺を彩り、初夏にはミソコウジュの小さな花が目を楽しませてくれます。秋から冬は、真っ赤に紅葉したタコノアシの茎がとても目立ちます。

他にも、夏至を過ぎた頃から白粉で化粧したように白く染まるハンゲショウや、真夏の日差しに負けないミソハギの鮮やかな花など、希少種の他にも四季おりおりに野草が楽しめます。

*バッタ

夏から秋にかけては、バッタ類が目立ちます。バッタの多くは、5月から6月に卵から孵り、8月の終わりにやっと成虫になります。幼虫はとても小さく見分けるのも難しいので、観察するには8月下旬から10月くらいが良いでしょう。

木道を歩くと、アシの茂みや足元の草むらから、バッタ達の大合唱が聞こえてきます。耳をすませてみましょう。足音に驚いたオンブバッタが飛び出し、キチキチ…という音とともに、ショウリョウバッタのオスが羽ばたいて草むらに逃げ込みます。イナゴ類は植物の葉を食料としています。かじられた痕のある葉を覗いてみると、アシの葉を食べるコバネイナゴやクズの葉を食べるツチイナゴが観察できます。



コバネイナゴ



オンブバッタのペア

*野鳥



オオヨシキリ

池の周辺で観察できる野鳥の代表は、オオヨシキリとホオジロでしょう。

オオヨシキリは繁殖のために南から渡ってくる夏鳥で、池の周りに広がるアシ原で子育てをします。繁殖期になると、雄は朝から日暮れまで、アシのてっぺんなどの目立つ所にとまり、「ギョギョシ、ギョギョシ…」と大きな声で自分のなわばりを宣言します。

ホオジロはスズメほどの大きさの茶色い小鳥です。一年中見られる鳥ですが、特に春から夏にかけて聞かれる雄のさえずりはとても美しいものです。また、9月に入るとモズがなわばり争いをはじめます。木道沿いでも「高鳴き」と呼ばれる、モズ独特のなわばり宣言の声を聞くことができます。

*トンボ

夏の池は、トンボで賑わっています。初夏には小さなイトトンボしか見られなかった池も、暑くなるにつれ、しだいに種類を増やしていきます。まず目に付くのは、全身真っ赤なショウジョウトンボで、次に美しい羽でヒラヒラ舞うように飛ぶチョウトンボも現れます。

8月になると、おなじみのシオカラトンボに、大型のギンヤンマが現れ、トンボ観察に最適の時期になります。トンボの雄は、なわばりを持つ習性のものが多く、近づく別のトンボを激しく追い払う動作などが観察できます。ギンヤンマのオスのなわばりは特に広く、縄張り内をバトロール飛行する姿を観察できます。



ショウジョウトンボ



ギンヤンマのペア

彩湖自然学習センター講座

土・日曜は自然の中へ!

凧づくり

親子ふれあい教室

昨年度の参加者は十数名、開講2年目の講座です。

好みの形を和紙に描いて切り抜く。竹ヒゴで骨組みを作り、安定させるための足をつける。

作業はここまでで、後は風に乗せて大空に向けて飛ばすだけです。うまく中心が取れていないと、クルクル回ってしまったり、逆さになって落ちてしまう。

今年度は12月6日予定ですので、是非ご参加ください。



魚の壁掛けをつくろう

こども自然観察教室

荒川を泳ぎ回る魚たち！
本物そっくりの紙ねんど魚を部屋に飾ってみませんか。

まずは魚の観察から。魚の姿・形・色合いなどを、しっかりと覚えます。続いて紙ねんどで、魚の体を造っていきます。ヒシの取り付けが少し難しいようです。

一日乾燥させる—
絵の具で慎重に色づけをし、乾いたらニス仕上げを。台材に張り付けて完成です。

毎年7月（予定）に実施しています。是非ご参加を。



彩湖自然学習センター授業10年の歩みに思う

～今も変わらずに 感動の体験を～

今から11年前の平成9年に彩湖自然学習センターが開館しました。その翌年の平成10年度からセンター授業をする小学4年生を対象にシャトルバスの運行の予算を確保することができ、以来市内の小学4年生は必ず一度はセンターを活用することになりました。そして今年で11年目を迎えました。この10年間で、4年生以外にも、小学校1・2年生の生活科の授業や3年生の理科、5・6年生の総合、あるいは社会科見学、出前授業など、市内外、学年を問わず幅広くセンターを活用していただけるようになってきました。

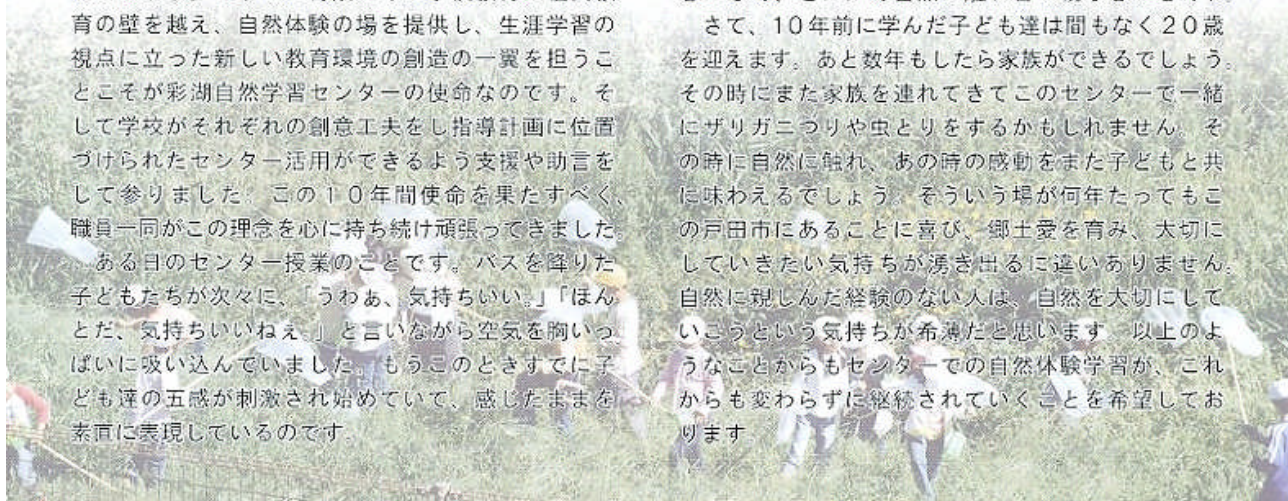
今日、都市化が進み私たちを取り巻く身近な自然環境が少なくなってきました。そのような状態ですから、週休2日制になったにもかかわらず余暇を自然の中で過ごすことは益々難しいことです。子ども達は知識だけが先走り、生活体験や自然体験が不足しています。こうした背景のもと学校教育と社会教育の壁を越え、自然体験の場を提供し、生涯学習の視点に立った新しい教育環境の創造の一翼を担うことこそが彩湖自然学習センターの使命なのです。そして学校がそれぞれの創意工夫をし指導計画に位置づけられたセンター活用ができるよう支援や助言をして参りました。この10年間使命を果たすべく、職員一同がこの理念を心に持ち続け頑張ってきました。ある日のセンター授業のことです。バスを降りた子どもたちが次々に、「うわあ、気持ちいい。」「ほんとだ、気持ちいいねえ。」と言いながら空気を胸いっぱい吸い込んでいました。もうこのときすでに子ども達の五感が刺激され始めていて、感じたままを素直に表現しているのです。

はじめはなんとなくだったものが、こちらが意識的に五感に働きかけることによって、子ども達の行動を促していきます。すると実際に触ってみたり、においを嗅いでみたり、じっと見たり、よく聞いてみたり、味わってみたりとすぐに反応して実行するようになります。授業の終わりごろには目がキラキラと輝いているのです。

同じようなことを大人にしてみても子どもと同様の反応はかなり緩慢になります。子ども達は乾いた砂に水が浸み込むようにスーッと吸収してくれるのです。これを考えると、子どもの時の体験がいかに重要かがわかると思います。

たった一度の体験でもその時に味わった感動は五感の記憶として残ります。自然とふれあうことにより生命の大切さや自然のふしぎさ、美しさなどを五感を通して「実感」できるのです。難しいことは抜きにして、とにかく自然に触れ合い親しむことです。

さて、10年前に学んだ子ども達は間もなく20歳を迎えます。あと数年もしたら家族ができるでしょう。その時にまた家族を連れてきてこのセンターで一緒にザリガニつりや虫とりをするかもしれません。その時に自然に触れ、あの時の感動をまた子どもと共に味わえるでしょう。そういう場が何年たってもこの戸田市にあることに喜び、郷土愛を育み、大切にしていきたい気持ちが湧き出るに違いありません。自然に親しんだ経験のない人は、自然を大切にしていこうという気持ちが希薄だと思います。以上のようことからセンターでの自然体験学習が、これからも変わらずに継続されていくことを希望しております。



お尋ね者 **WANTED**

名前：**アレチウリ** (荒地瓜)

北アメリカ原産の一年草。

大きな葉をたくさんつけて、ほかの植物等を覆い隠し、もともとあった生態系をこわしてしまう。

その被害が甚大なため、特定外来生物に指定されています。

結実後は、とげに充分注意して見つけ次第処分してください。



全景：マテバシイを覆い隠すアレチウリ



葉：キュウリの葉によく似ている



花：淡黄白色の花



茎：白毛が生える

● 特定外来生物とは？

もともと日本にいなかった外来生物のうち、生態系などに被害を及ぼすものをいう。

● 生態系への被害は？

- ・在来生物と交雑して雑種をつくる
- ・在来生物の生育環境を奪ったりする等

◆ 外来生物被害予防三原則

- ★**入れない**…悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に入れない。
- ★**捨てない**…飼っている外来生物を野外に捨てない。
- ★**拡げない**…野外にすでにいる外来生物は他地域に拡げない。

*参考文献：「街でよく見かける雑草や野草がよくわかる本」 2006年 ISBN4-7980-1485-0 著/岩槻秀明、秀和システム

ご利用案内

- **開館時間** / 午前10時から午後4時30分まで
- **休館日** / ①月曜日
(ただし、この日が第1・第3月曜日と休日にあたる場合は除く)
②年末年始 (12月29日～1月4日の7日間)
③館内整理日 (毎月末日)
(ただしこの日が土曜日・日曜日・休日にあたる場合は除く)
④その他教育委員会が必要と認めた日

● 入館無料

交通案内

- **お車ご利用の場合**
 - ・東京外環自動車道 戸田西ICより約0.5km
 - ・新大宮バイパス 美女木交差点より約1km
- **電車ご利用の場合**
 - ・JR武蔵浦和駅から下笹目行きバス「修行目」バス停下車徒歩8分



彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地 TEL048-422-9991 FAX048-422-9993
URL <http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html> E-mail kyo-saiko@city.toda.saitama.jp

この冊子またはポスターにやさしい再生紙を使用しています。